

平等寺だより

謹賀新年

編集発行
☎633-0001
桜井市三輪 38
三輪山平等寺
TEL/FAX
0744-42-6033



二十一世紀は心の時代といわれながらも昨年九月十一日アメリカで同時多発テロが勃発し、アフガニスタンが報復の戦禍にみまわれましました。宗教は本来平和で平等な世界を希求するものですがそれを傷つけるのもまた人間です。テロを実行すればテロリストになり、仏の道を行ずれば仏のみ子になるのです。要はどんな生き方であるかが大切です。「行いよつて尊さが決まる」という釈尊のみ教えを心して受けとめなければなりません。

八百年ぶりの二重の塔・釈迦堂の再建もようやく基壇ができあがり、いよいよ今春から建立です。中央に釈尊の仏舍利と仏足石、そしてご尊像が奉られ、皆さまのご先祖さまの永代供養のお位牌をおまつり申し上げます。八百年めの再建に絶大なるご支援ご協力のほどをお願い申し上げます。

住職 丸子孝法 合掌

行事報告

一、七五〇回大遠忌奈良県宗務所
予修法要(十月六日 天照寺)
参加者
副住職 丸子孝法
総代 岡本 弘
総代 日浦雄作

二、高祖道元禪師七五〇回大遠忌
近畿管区予修法要(十月十一日
和歌山県民文化会館)
参加者
住職 丸子孝法
副住職 丸子孝仁
総代 岡本 弘
総代 佐藤和彦
総代 後岡敬太朗

三、県梅花大会(十月二十六日)
今年は十名で参加。当寺梅花講
の奉詠で楽しく終わりました。
四、報恩授心坐禅会
(十二月一日〜八日)
寒い中のご参加、ありがとうございました。

行事予定

一、大本山永平寺高祖道元禪師七
五〇回大遠忌団参
日時 平成十四年七月三・四日
宿泊 山中温泉たわらや
費用 三万円

※参加希望者は5月末日までに
お寺に申し込んで下さい。

一、第二十五回子供縁蔭禪の集い
参加者募集(七月二十五日〜二
十六日)
参加費 三千元
募集締切日 六月末日

※今年で二十五回目になります
奈良県の縁蔭禪の集いです
が、なんと第一回は平等寺で
行われたのでした。勉強に習
い事にあわただしく過ぎて行
く毎日。じっと坐ってみるの
もいい思い出になるのでは。
小学4年生以上で参加希望の
方はお寺に申し込んで下さ
い。

法話

「成道の釈迦」

お釈迦さまはどんなお姿だっ
たのだろうか、こんな疑問を持っ
ていた私は、二十八歳の時、恩師
からお釈迦さまの似顔絵を頂い
たのです。それは、大英博物館に
秘蔵されている生前中に写生さ
れたお顔の絵の複写でした。お釈
迦さまがお悟りをひらかれ、その
六年後初めて、お生まれになった
釈迦国を訪ねられたとき、父であ
る王が画家に命じて写生させた
という絵です。そのお顔は、まこ
とに聖者そのものでした。
その絵を頂いたとき、私の寺で

は、坐禅堂の建設の最中でした。
ぜひ坐禅堂にお祀りしたいと、
近くの著名な先生に、その絵を
元にお釈迦さまが成道されたと
きの絵を描いて頂くことを考え
ました。しかし、さまざまな理
由でその先生にお願いすること
ができなくなり、一念発起し私
は画材道具一式と百号キャンパ
スを買取り具、生まれて初めて
油絵に挑戦することになったの
です。

お釈迦さまをお慕いしながら
の、五十日。何とか畳一枚半の
絵が完成し、私はその絵を「成道
の釈迦」と名付けました。

その後こんな二つの体験をし
ました。今はなき、仏教学者の
最高峰といわれた中村 元先生
にお会いしたときにお釈迦さま
はどんな人であったかをお話さ
ると「顔色の清らかな身のうる
わしい方であった、と古い文献
にあります」と即座にお答えい
ただきました。また、宮沢 賢治
が私が手本とした大英博物館の
絵を生前に大事にしていたこと
を賢治の生家を訪ねたとき知り
ました。この二つのことに、「成
道の釈迦」を描き上げた私には
なんと嬉しく感じました。

日曜の朝に坐禅会を始めて満
三十年になります。遥かなる二
五〇〇年前のお釈迦さまを描か
せて頂いた「成道の釈迦」。太陽
の輝きを背に手と足を組み、す
べてを見守ってくださるお釈迦

さまが坐禅会の私たちを導いて
くださったのを感じます。
命の深さを学び、自他共に限
りなく尊い自己を発見する。こ
のひたすらに尊い坐禅をお釈迦
さまの成道に思いを寄せ、一日
一日につとめましょう。
(孝法)

まるが行くぞの②

最近ごはんがおいしくなった
のか食事中のまるは嬉しそう。
ドッグフードの種類が変わった
から?ご飯がおいしいと一日が
幸せだ。ご飯がまずいと目の前
が暗くなる。何もお米をかける
必要はない。白いお米の炊き具
合、麵のゆで具合、ご飯がおい
しくなるのもまずくなるのも作
る人のうで次第。食べる人の一
日も作る人の心次第。

三輪山裏

寒さに負けず、眠さに負けず、
毎朝6時にお寺の鐘は鳴る。た
まに鳴らせない日もある。寛仁
はもつと寒い岩手で仕事中。道
仁は総持寺で修行中。慶仁は受
験で勉強中。方丈さんは全国を
とびまわり法話中、妙幸さんと
美佐さんはお寺で掃除中。三歳
の奈優は一歳の竜輝の言葉を代
弁中として、私は道場のイギリ
ス人サムさんの言葉に頭をフル
回転中です。山内一同、皆さま
のご多幸をお祈りいたします。
(孝仁)